

【先-11】盛岡市動物公園の官民連携による再生活活性化事業調査 (対象箇所:岩手県盛岡市)

【実施主体】盛岡市

平成27年度

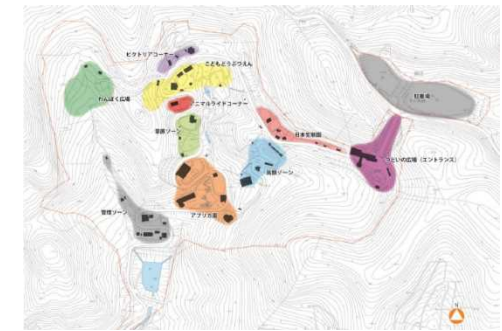
調査目的・これまでの経緯

盛岡市では、都市公園(総合公園)である岩山南公園内に位置する盛岡市動物公園の運営に対する財政負担の増加、施設の老朽化、顧客ニーズの変化による来園者数の減少等に対応できず苦慮していたことに加え、新たな事業展開を行うにしても厳しい財政状況のなかで事業費の確保も困難な状況にある。

このことから、民間活力を導入することで、顧客ニーズに応えた施設更新及び運営を行う新たな事業展開を行うことで、来園者数の増加につなげ、収益向上による財政負担軽減が可能であるか官民連携手法の導入を検討することとした。

施設の概要

盛岡市動物公園
敷地面積:37.2ha
建築面積:5528.06㎡(施設の合計)
施設構成:
・動物展示施設(獣舎・パドック等)
・利便施設(レストハウス等)
・管理施設(病院・事務棟等)



調査結果

1. 民間事業者の意向把握

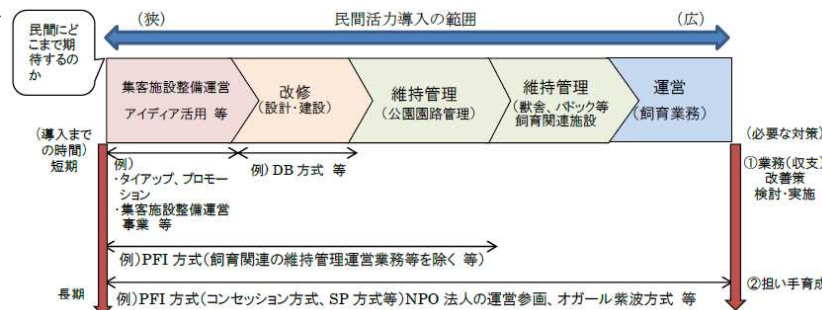
本事業への民間事業者(計12者)の意向を調査したところ、次のような回答が得られた。

- ・概ね**関心がある**
- ・動物園の業務内容や収支構造が見えないため、更なる情報開示により事業参画の可能性を検討したい
- ・イベント企画や動物園のプロモーション、利便施設整備などの**飼育以外でのノウハウ活用の可能性**はあり
- ・民間には飼育のノウハウがないため、ノウハウを保有した受け皿となる事業者が必要

2. 官民連携手法の導入可能性の検討

多様なPPP手法について検討したところ、次のスキーム案が得られた。

- ・タイアップやプロモーション契約方式
- ・集客施設整備運営事業方式
- ・DB方式(CM方式)
(**Design Build Contract Management**)
- ・PFI方式(コンセッション方式)
- ・SP方式(**S**ervice **P**rovider)
- ・PPPエージェント方式



3. 実施可能性の評価

- ・従来手法と公共施設等運営権事業でのPFI方式(独立採算型の事業に運営権設定)を比較検討したところ、**VFMがあることが確認された**。
- ・事業の効率化や財政負担の削減、集客性向上、周辺施設との連携など**定性的な効果**も期待できる

今後の展望

今後の予定

- 平成28~29年度 地元への事業の周知
官民協議対での運営条件の協議
- 平成29~30年度 事業者公募予定
- 平成31年度4月 事業開始

事業化にあたっての課題

- ・市民・地域の参画推進
- ・事業の担い手育成と意見交換
- ・運営条件の見直し
- ・未利用地・空地における民間収益事業導入時期

課題への解決方針

- ・市民ワークショップ、アイデア募集、住民参加型公募債の活用等
- ・官民協議体の発足による動物園事業及びPPPについての勉強会の実施
- ・料金体系について条例改正